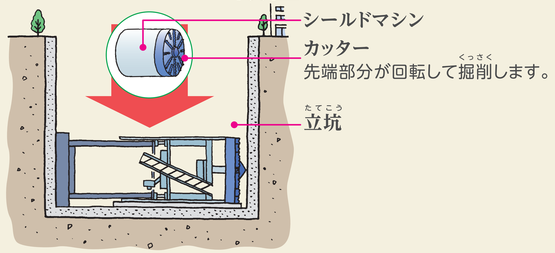
各工法は、トンネルをつくる場所の状況に応じてふさわしいものが採用されます。

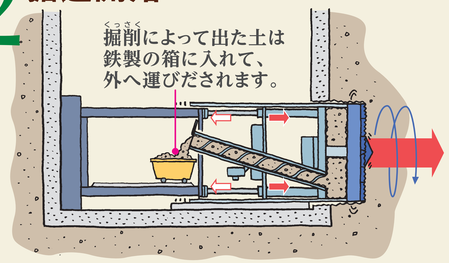
シールド工法　都会のトンネルは、多くの場合この方法でつくられます。地上部の交通を妨げることなく工事を進められるのが特徴です。

1 シールドマシンの設置



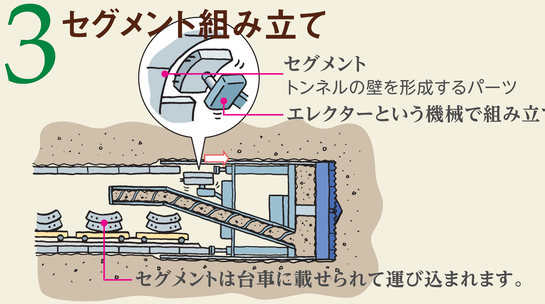
地面を掘り下げて立坑をつくり、
シールドマシンを投入します。

2 掘進開始



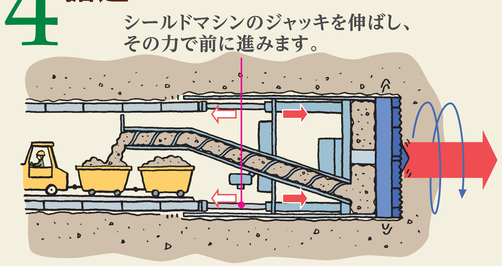
壁に穴をあけてシールドマシンの
先端が回転して掘り始めます。

3 セグメント組み立て



セグメントを組み立て、
まわりの土砂を支えます。

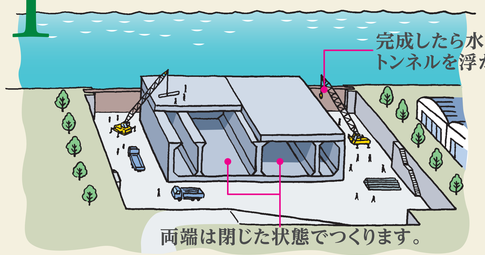
4 掘進



シールドマシン自体で掘り進んでいきます。
3.4.を繰り返してトンネルをつくります。

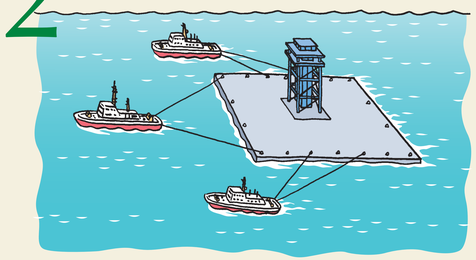
沈埋工法　海底トンネルなどは、地上でトンネルの一部をつくり、トンネルを通る地点まで運んで沈めます。

1 トンネルの製作



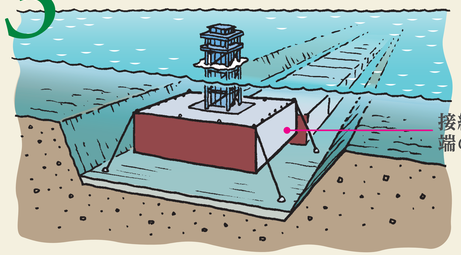
トンネルの一区間を、地上でつくります。

2 運搬



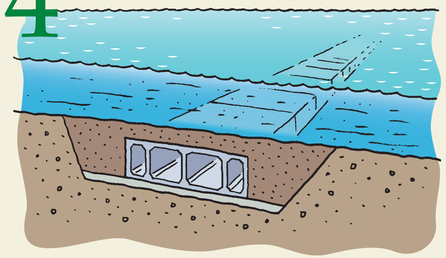
工事現場まで、トンネルを浮かべて運びます。

3 接続



トンネルを通す地点まで運んで沈め、
その後つないでトンネルを作ります。

4 埋め戻し



トンネル全体をつなげたら、
埋めて完成させます。